

2019年度 活動予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(福岡県ライフセービング協会)

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	600000		
一般会員受取会費	75000	675000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0	0	
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0	0	
4 事業収益			
登録管理事業収益	262000		
講習会事業収益	82500		
競技会事業収益	200000	544500	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収入	0	1219500	
経常収益計			1219500
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	50000		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	50000		
(2) その他経費			
会議費	0		
旅費交通費	50000		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払利息	0		
その他経費計	50000		
事業費計		100000	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	100000		
旅費交通費	200000		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払助成金	675000		
支払利息	0		
その他経費計	975000		
管理費計		975000	
経常費用計			1075000
当期経常増減額			144500
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			144500
前期繰越正味財産額 (設立時正味財産額)			0
次期繰越正味財産額			144500

(備考)

- 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。
- 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載する。